

清流だより

第10号

平成31年4月30日発行

発行責任者：向井ひろあき後援会

木村左右和

連絡先：南木曽町読書2740の2

電話 0264(57)2475



日々の活動の様子は「後援会 HP」「向井ひろあきブログ」「町 HP 町長の部屋」で発信中 ⇨



こんな活動をしました!しています!



ハガティ・アメリカ駐日大使と



地元選出
後藤茂之衆議院議員と



木曽郡町村長と阿部守一長野県知事と懇談



長野県南部国道連絡会で
国会議員へ意見発表



大切な「町のお医者さん」
篠崎先生と



空手世界選手権優勝の
南木曽町出身の武儀山舞さんと



木曽郡町村会で
財務省へ要望



沖林野庁長官と懇談
(撮影当時)



国交省中部地方
整備局長へ砂防要望



歯の治療でお世話に
なっている水野先生と



総務省へ光化事業要望



飯田市長阿智村長と
国交省道路局長へ要望



右は南木曽町出身の後藤光雄(旧姓垂見)
鈴鹿市議と(中央右は話題の鈴鹿FC
女性サッカー監督のマルティネスさん)



地区祭礼でセリ人?



木曽病院井上院長と



岐阜県会議長へ
中津川市長と要請活動



空家利活用のコミュニティ施設
地域支援活動センター
「のどか」開所式



お気軽ミニ集会



地域食材をイタリアンで
イタリア人シェフの
パトリツィアさんと



蘭地区敬老会で



孫を東山神社の
神輿にくぐらせて



町のフットサル大会で(左)



シルバー人材センターの
ボランティア作業



長久手市民祭りで吉岡市長を囲んで



少年野球大会始球式で(バッター)



消防歳末夜警巡視



町民マレットゴルフ大会



保育園運動会あいさつで



3
南木曽出身のお笑いタレント
スピードの3
なかしさん(女性)と

【平成から新たな時代へ】 気持ち新たに前向きな取り組みを



皆様方にはお元気にお過ごしのことと存じます。日頃は後援会活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

「平成」の時代が幕を閉じ「令和」の時代が始まります。町政も就任して3年が過ぎようとしています。少子化、人口減少の大きな課題をはじめ課題は山積していますが、前向きな気持ちで向き合い、出来ることから取り組んでいます。新しい時代に希望を持ち、元気が持てる町づくりに向けて頑張っていきますので、変わらぬご指導ご支援をよろしくお願い致します。



《最近の主な取り組みから》

子育て・教育支援のさらなる充実を！

町内の平成30年度出生数は20人。引き続いて安心して子どもを産み育てられる環境整備を重点策のひとつとして取り組みます。

この数年で、不妊不育治療の上乗せ補助、新生児聴覚検査・親子歯科検診の無償実施、保育園給食費の無償化、放課後子ども教室、中学生学力検定制度への補助、中3高3生インフルエンザ予防接種無償化など、目に見えやすい形で支援策を進めてきましたが、新年度には出産後のケアが必要な母子への支援、風疹予防対策、小中学生入学祝品の贈呈などの充実を図ります。

急激な少子化と保育指針の大幅な改正により、保育サービスのあり方の見直しが迫られる中、今後の保育所運営については、指針内容に合わせた幼児教育の明確化と小学校就学との連携を深めていくと共に、保育所審議会の答申をもとに、保護者や地域の声にも耳を傾けながら議会とも協議を詰め、方向性を出していきます。

昨夏の猛暑をふまえて、保育園・小中学校のエアコン整備を行います。蘇南高校では久しぶりに複数名が現役で公立大学に進学しています。町独自の支援策を継続していきます。

増える外国人観光客、観光体制の強化へ！

南木曾町観光協会の法人化と組織強化により、妻籠宿を中心とした観光客誘致体制づくりを進めます。日本遺産や東京五輪を見据えた取り組みが出来るように、郡内はもとより長野県・南信州・東濃地域との連携を深めていきます。

空き家や古民家の改修を推進。妻籠や田立地区では観光や福祉に生かせる交流センターの整備や、農泊推進協議会の立ち上げをしています。

地域経済への対応も！

消費税引上げへの対応として、プレミアム付商品券の発行、カード化対応の推奨。妻籠分館建替えにあわせ、地域の材木・業者もかかわれるような仕組みづくりをスタートさせ準備を始めました。リニア中央新幹線はリスク軽減のための環境・補償問題が本格化すると同時に、商工会などとともに利活用に向けた研究も進めていきます。

こんなこともやってます・はじめます！

- ・町政報告会、ミニ集会(随時)の継続開催
- ・運転免許証自主返納者への支援(商品券の進呈)
- ・振り込め詐欺防止用の電話機器導入への補助
- ・J A ペットボトル茶「お茶だに」継続支援、販売
- ・地域バスで障がい者割引制度を開始
- ・都会からの大学生をインターンシップで南木曾町へ
- ・若者の声を活かす「若者会議」発足
- ・三留野で小水力発電事業をスタート
- ・19号、256号、中津川田立線、右岸道路など大型道路改良の促進活動、木曾川増水対策として水位計増設、監視カメラを設置 などなど

高速通信網へ、光化全面更新へ！

若い世代に欠かせないのが通信環境の整備。
2020年度中に南木曾町内全域での光化工事を計画しています。

ワンコインで健康診断を受けよう！

町内で受ける健診に町から助成をしています。健診受診率の向上により、一人当たりの国保医療費、薬代に減額傾向が見えてきました。早期発見・早期治療により、誰もが健康で幸せな生活を守っていきます。

木曾病院が身近な病院となるよう県や先生方と協議を続けていくほか、通院タクシーを継続運行します。坂下病院の機能縮小を補うために住民アンケートをもとに、市民病院への交通手段については関係機関と協議を行っています。

町内のお医者さんを守るために、懇談会を開いて行政として支援できる道を検討し始めました。また「木曾あすなろ荘」にも関心を持って施設維持に協力していきます。

後 記

今年の冬は雪が少なく春先の水不足が心配されましたが、今年もきれいな桜やツツジが咲きました。

新しい時代になっても「もっと南木曾を元気に」できるような町づくりを進めていければと思います。皆さんと力を合わせながら後援会としても活動してまいります。皆様のご健勝をお祈りするとともに、引き続いて温かなご支援をお願い致します。(事務局)

*後援会加入希望は、お近くの役員又は事務局まで。

電話 0264(57)2475